



高等学校	国語	1～3年
------	----	------

比べ読みによる「読み」を深める学習（古典分野）

【概要】

教科書頻出の伊勢物語「芥川」と同じ内容の作品である今昔物語集の「在原業平中将女被暎語第七」を使用し、二つの作品を四人一組のグループで比べ読みし、グループ内で「読み」をぶつけあい、さらに教室全体で「読み」を交流させることにより、生徒が主体的に作品に関わり、読みを深めていくことができた。

【展開】

第1次 「芥川」の解釈と文法事項の学習

- ・グループ学習の形で一人一冊の古語辞典を使い、口語訳を完成する。

第2次 「芥川」と「在原業平中将女被暎語第七」の比べ読み

- ・「在原業平中将女被暎語第七」の解釈及び二つの作品の相違点を抜き出す。
- ・相違点をカードで整理し、「場面・心理描写・人物描写」程度に分類する。
- ・分類したカードを台紙に貼り、他のグループと結果を共有する。
- ・共有した内容を踏まえて自分の解釈をし、「私家版芥川」を作成する。

【生徒の反応】

グループ学習による比べ読みを通して、互いに「読み」を交流し深めることができた。さらに自分なりの解釈に至ることができた。生徒が作成した「私家版芥川」は、単なる口語訳ではなく自分の解釈を元にした「作品」に仕上がった。